2026 年度 講座・出前授業報告書 No. 27

開催日 時	2026 年 10 月 21 日（水）　開始時間　8：50　　終了時間　12：20						
開催場所	鶴園小学校						
実施内容	ビタミンＣ						
学年、組、等	６年２組		６年１組				参加児童数 計
児童数	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席	
	31	1	31	1			62
スタッフ	７名	実施機関スタッフ		２名			

１　概要

「ビタミンＣたっぷりなものは？」どんなものにビタミンＣが多いかを、ヨウ素溶液を試薬としてビタミンＣの含有量を滴定実験によって比較する。

試料にレモン果汁、皮ごとまるまるレモン、緑ピーマン、赤パプリカ、そして今までキウイゴールドも使っていたが、食物アレルギーを考慮して、今回もキウイゴールドは演示実験とした。

２　実施内容

PPT を使って、ビタミンＣについて児童への問いかけを交えて説明。

実験の前に、ビタミンＣが多い順番を予想してもらった。２つのクラスは、皮ごとまるまるレモンとレモン果汁が１位だった。

演示実験では、児童を前に集め、メスシリンダー、ピペット、スポイトの正しい使い方を指導しながら、試薬に試料を滴下して、色の変化を確認させた。

そのあと席に戻り、各班のメンバーで役割分担を決めた。演示実験を見たことにより、他４つの試料でもスムーズに進めることができた。

班ごとに実験結果を黒板に表示して、平均値を出し、予想との違いを比較し、気が付いたことを発表してもらった。

３　良かった点、課題点など

実験をしていて、早い段階で、少ない滴下数で色の変化が見られたことに、ビタミンＣが多いと気付いた児童にはよく考察していると感心した。

ビタミンＣと言えばレモンという先入観があるが、実験結果との違いがあることにより、マスコミなどの言うことを鵜呑みにしては良くないことに気付いてもらえた。

さすがに６年生は落ち着きがあり、説明もきちんと聞いて集中していた。

キウイゴールドは今後も演示実験にすることになれば、ワークシートの実験結果表の順番を書き換えることも必要である。

説明、実験、発表、感想の時間配分の検討も必要と感じた。





